

ひびきあい

学校教育目標
「やさしく かしく たくましく
自分のよさを生かして
未来を創ろうとする子ども」
の育成

令和8年8月25日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする

アップデートしよう（未来を創る子どもたちのために）

さあスタート 2学期もがんばろう…

連日の猛暑、酷暑で、外で作業をするにも、十分な準備と体調管理が必要です。まぶしいくらいに青い空には、大きな入道雲がその姿を見せています。まだまだ、夏は続きそうです。

今年の夏は、熊本で大きな地震があり、千葉では大雨による被害がありました。多くの方が亡くなられたり、被災されたりしました。また、今年も水の事故や交通事故によって、尊い命が失われています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。今なお、厳しい暑さの中で後片付けをされている方々もいらっしゃいます。一日も早く、平穏な生活を取り戻されることを願っています。自然災害の恐ろしさを改めて感じた夏休みでもありました。

今日、2学期の初日を迎え、子供たちが一人も欠けることなく、元気に夏休みを過ごせたことは、大変喜ばしいことです。静かだった校舎内に元気な子供たちの声が響き、学校が息を吹き返したように感じます。

1学期末の終業式では、「自分なりに楽しい夏休みにする」ということを話しました。子供たちは、どんな夏休みを過ごしたのでしょうか。

2学期には、修学旅行をはじめ、楽しい行事がたくさんあります。6年生にとっては、「小学校最後の」という冠が付くものばかりです。しかし、ただその日を待っているだけでなく、しっかりと準備をして、一つ一つの活動に取り組んでほしいと思います。そうすることで、思い出もより大きなものになることでしょう。もちろん、1年生から5年生の子供たちにも、たくさんの思い出をつくってほしいと思います。



学校での活動は、どんな活動であっても子供たちに力を付けますが、行事には、普段の教室での学習とは違った力を育む側面があります。実際に体験するからこそ得られる気付きや学びがあり、それらが一人一人の力となっていきます。そういう意味では、2学期は子供たちが大きく成長する学期とも言えます。

多くのことを経験し、仲間と関わり、挑戦する中で、学期の終わりには、入道雲が一つ一つ違った姿を見せるように、子供たち一人一人がそれぞれの姿で、きらりと輝いてくれることを楽しみにしています。

熱中症を防ぐために 対策を…

お盆を過ぎても、日中の暑さはあまり変わりません。まだまだ、子供たちの熱中症対策が必要です。以前にもこのお便りでお知らせしましたが、熱中症対策については、一人一人の暑さの感じ方や暑さへの耐性も異なることから、電動式のファンについては使用を控えることにしていますが、それ以外については特に細かな決まりは設けていません。日傘やアームカバーなど、日差しを遮るものも効果的です。また、保冷剤をハンカチ等で包んだものやネッククーラーなど、体を冷やすためのものも効果的です。それぞれのご家庭で、子供たちの体調や暑さの感じ方に応じて工夫しながら、熱中症対策を行ってください。

9月1日は 防災の日…

昨今、自然災害によって私たちの暮らしが脅かされるケースが多くなってきたように感じます。9月1日は「防災の日」です。自然災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。いざというときに、どこへ避難するのか、家族とどのように連絡を取るのかなど、ご家庭でも「もしものとき、どうするのか」を話題にしていきたいと思います。この機会に、ご家族で防災について考えてみてはいかがでしょうか。

